

農山漁村地域整備計画事前評価調書

計画の概要	計画の名称	元気とやまの漁港漁村づくり計画
	計画策定主体	富山県
	対象市町村	滑川市、氷見市、朝日町、入善町
	計画期間	平成22年度～平成24年度（3ヶ年）
	計画の目標	漁業の生産基盤となる漁港の機能充実を図り、生産性を高めるとともに、漁業集落の生活環境の改善を図ることにより、活力ある漁村づくりを目指す。 海岸保全施設の機能保全(老朽化対策)および機能強化を図り、背後集落の生命財産を守る。
	定量的指標(目標値)	宮崎漁港において、利用漁船120隻の安全な係留の確保。 氷見漁港の背後集落(北大町、栄町、間島)の住民3,200人の憩いの場の確保。 入善漁港の芦崎地区10haの排水機能強化。 滑川漁港海岸の背後集落における浸水防護面積9haを確保。
	対象事業	地域水産物供給基盤整備事業、漁業集落環境整備事業、漁港環境整備事業、海岸保全施設整備事業(老朽化対策)
	全体事業費	1,002,000千円

項目	評価細目	評価	説明欄
目標の妥当性	1 関連する計画との整合性が図られているか	○	富山県水産業振興計画との整合が図られている。
	2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	安定的かつ安全な水産物の供給を支援する漁港整備、生命財産を守り、安全安心な暮らしを確保する海岸保全施設の整備、快適で潤いのある漁港漁村環境の形成等、地域の課題に対応した目標となっている。
整備計画の効果・効率性	1 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか	○	整備計画の目標として適当な定量的指標の設定となっている。
	2 事後評価ができる適切な指標となっているか	○	漁港の係留漁船数、背後集落人口、排水路受益面積、防護面積等、事後評価できる指標となっている。
	3 構成事業の実施による効果の評価するための指標として適切なものとなっているか	○	地域水産物供給基盤整備事業、漁業集落環境整備事業、漁港環境整備事業、海岸保全施設整備事業(老朽化対策)の実施により発現する効果として適切な指標となっている。
整備計画の実現可能性	1 円滑な事業執行の環境が整っているか	○	関係市町との推進体制が整備されており、円滑に実施できる。
	2 地元の機運が醸成されているか	○	地元関係者は事業を十分に理解し、事業実施について了解している。
評価結果	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">評価Ⅰ 事業を実施</div> 評価Ⅱ 計画の見直し		【評価基準】 「評価Ⅰ」は、全項目に○印が付いているもの 「評価Ⅱ」は、1項目でも×が付いているもの